

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	国語表現	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	国語表現（大修館書店）		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	自己PRと面接 ・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう ・志望理由を書こう ・自己推薦書や学修計画書を書く ・面接にチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 ・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別してニュース記事を書く活動に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
8 9	会話・議論・発表 ・相手や場面に応じた会話 ・建設的な議論の進め方 ・スピーチをしよう ・プレゼンテーションの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設的な議論になるように協力し合う。 ・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。 	
10 11 12	【第2部】表現を楽しむ ・言葉で遊ぶ ・無人島で生き残れ ・日常生活の正しい過ごし方 ・魅惑的なポスターを作ろう ・「わが町自慢」のパンフレット作り	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。 ・課題を解決するために、建設的に話し合う。 ・接続表現や順序を表す言葉などを効果的に用いる。 ・読み手の心を動かすことができるような効果的なキャッチコピーを書く。 ・読み手を意識し、伝えたいことをわかりやすく書く。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 ・目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・それぞれの活動に対して興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。 	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 2 3	読書のひろば	・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。	○			・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	授業態度 小テスト 課題
				○		・目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	
					○	・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組もうとしている。	